

紫陽花が美しい季節となりました

梅雨に入り、紫陽花が美しい季節となりました。

本校の校庭にも、紫陽花が咲き、子どもたちを出迎えてくれています。



紫陽花（あじさい）の名前は、藍色の花が集まることを意味する「集真藍（あつさあい）」が変化して「あじさい」と呼ばれるようになったと言われています。

「あじさい」を漢字で「紫陽花」と書くようになったのは、平安時代の歌人「源順（みなものしたごう）」が、白楽天（白居易）の詩に出てくる「紫陽花」をその特徴から「カクアジサイ」のことだと考えて「紫陽花」を「あじさい」としたのが始まりだといわれているようです。

「紫陽花」は、小さな花が寄り集まって、大きな手毬状の花姿になっています。花言葉の中には、仲良く花が集まっておしゃべりしている姿にも見えることから、「一家団欒」「家族の結びつき」「和気あいあい」といった花言葉があります。

紫陽花の多くは、土壌によって、青系統と赤系統に色をかえる性質をもっています。
 一般的には、土壌が酸性よりの場合は青系統に、土壌がアルカリ性よりの場合は赤系統に色が変わります。
 紫陽花の花色が変わる性質から、紫陽花を「七変化」「八仙花」と呼ぶこともあります。

みなさん、気持ちのよいあいさつができていますか。

自分も周りの人も元気になる素敵なあいさつを進んでみましょう。

今日（6月5日）から教育実習の先生やトライやるの中学生もみなさんと一緒にあいさつ運動に取り組みます。

平荘小学校や平荘町に気持ちのよいあいさつが響き渡るよう頑張りましょう。

6月の全校朝会より



1学期も半分が過ぎました。

4月の始業式（入学式）に、みなさんに話した「自分がされて嫌なことは人にはしない 自分がされてうれしいことを人にする」ということを実行できていますか。

自分の行動や言葉遣いを振り返って、相手の気持ちを思いやりながら自分の発する言葉にも気を付けて、今以上に友だちと仲良くしましょう。



今月の生活目標は、『トイレのスリッパをそろえてぬごう』です。この行為は、次にトイレを利用する人のことを考えた心づかいです。人を大切にする行為です。

一人一人が意識して、トイレのスリッパをそろえましょう。

今週は、授業参観もあります。4月に話したように、『聴くこと』に力を入れましょう。そのためには、姿勢が大切です。そして、話し手が何を伝えようとしているのかを考えながら聴きましょう。

あいさつ運動を頑張っています

6月6日（火）より、児童会が中心となってあいさつ運動を実施しました。教育実習生やトライやるの中学生も参加しました。

6月7日（水）には、リモートを活用しながら、3校（両荘中学校・上荘小学校・平荘小学校）合同のあいさつ運動を展開しました。



両荘中学校のみなさん、
上荘小学校のみなさん、
おはようございます。

元気なあいさつの声が、学校下の交差点まで聞こえてきました。

逆に、子どもたちの登校時に交通指導員さんや地域の方に「おはようございます」とあいさつをしている声が、学校の玄関まで届きました。

『あいさつは 心を結ぶ 合言葉』です。頑張っています。



児童会が取材を受けました

6月5日（月）に、高学年集会について新聞社から取材を受けました。高学年集会では、『両荘みらい学園について』をテーマに、4～6年生で集会をもち、来年度開校の両荘みらい学園について教育委員会の先生からお話を聞くというものでした。「どうして高学年集会を計画しようと思ったのか」「きっかけは何か」等、記者の方から取材を受けていました。



学校の代表として取材を受けました。ドキドキしました。



高学年集会に向けて リハーサルを頑張りました



6月6日（火）の高学年集会が成功するように、司会進行のリハーサルを行いました。

高学年集会のポスターも作成し、両荘みらい学園の話に、（平荘っ子に）興味を示してもらえるよう働きかけも行いました。